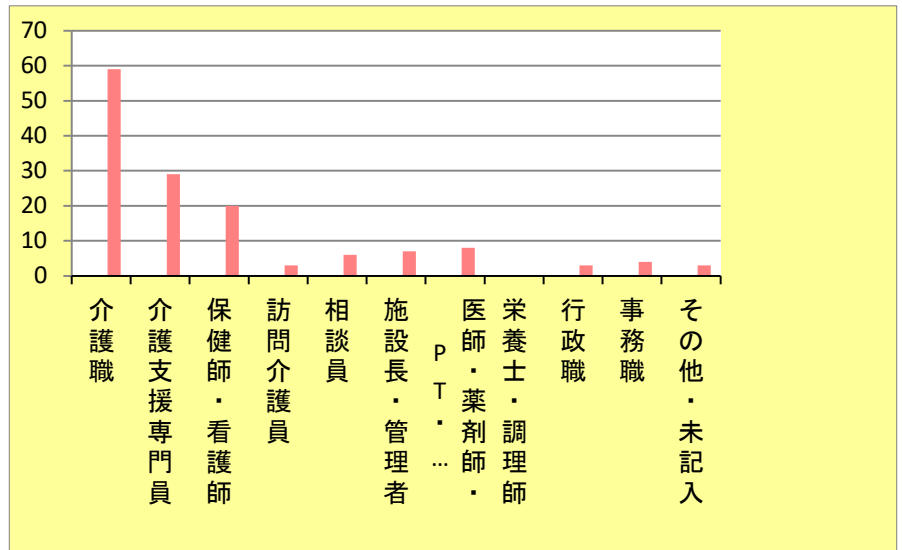
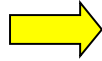


(1) 参加者の状況

参加者数 57名		
一般		
1	介護職	59
2	介護支援専門員	29
3	保健師・看護師	20
4	訪問介護員	3
5	相談員	6
6	施設長・管理者	7
7	医師・薬剤師・PT・OT・ST	8
8	栄養士・調理師	0
9	行政職	3
10	事務職	4
11	その他・未記入	3
合計		142



(2) アンケートの集計

① 勤務されている業種

業 種	
居宅介護支援	24
訪問介護・入浴	3
訪問看護	4
訪問リハビリ	3
通所介護	21
通所リハビリ	1
支援センター	7
居宅療養管理	1
グループホーム	5
介護福祉施設	14
介護保健施設	22
小規模多機能	6
病院・医院	0
行政	2
福祉用具貸与・住宅改修	1
その他	5
未記入	8
合計	127

② 現在の職種

職 種	
介護職	45
相談員 (病院・施設・福祉用具貸与)	8
訪問介護員	3
介護支援専門員	29
看護師	13
保健師	1
OT	0
PT	4
ST	0
医師	1
薬剤師	3
栄養士	0
調理師	0
管理者	7
事務職	4
行政職	2
その他	3
未記入	4
合計	127

③ 経験年数

経験年数について		
1	1年未満	7
2	1年以上3年未満	19
3	3年以上5年未満	21
4	5年以上10年未満	26
5	10年以上	50
6	未記入	4
合計		127

④ 講義内容について

アンケート回答者数127名		
1	非常に良かった	58
2	良かった	55
3	どちらともいえない	8
4	あまり良くなかった	0
5	良くなかった	0
6	未記入	6
合計		127
アンケート回答率		89.4%

(3) ご意見をお聞かせ下さい

①講義内容に関するご意見	現場目線の内容で非常に聞きやすく、大変心に響きました。
	介護現場で起こっている問題が手に取るようになった。解決、改善する方法、理念も理解できた。
	利用者が拒否した時の理由を他職種の方と共有し改善していく。ストレス⇒事故⇒虐待につながる。虐待を予防するには、虐待には該当しない不適切な仕事ぶりを放置しないことが重要。
	どんなに小さなことでも、他職員と共有しながら話し合い、コミュニケーションも大事だと感じました。
②今後のスタッフセミナーの内容・在り方	身体介護の介護技術 利用者の急変時の対応
	安全対策、事故防止に関する研修、BCP作成のポイント
	職員のストレス、感情のコントロール
	事業所の取り組み発表、福祉用具の紹介
③協議会への要望等	感染予防対応等、気を使われながらのスタッフセミナーの実施ありがとう。
	座席指定は良い対応でした。
	人数を制限するのであれば2席開けてほしい。
	コロナ禍の中2時間は長いと思います。

① 講義内容に関するご意見、心に残った事、実践してみたい事

No.	内 容	同様の意見
1	今一度自分の行動、立場を考え、見直してみようと思いました。	
2	ストレスマネジメントの重要性で、立ち止まり、振り返り、見直すことが心に残りました。	
3	不適切なケアからヒューマンエラーに繋がり、虐待に繋がっていくので、早めに芽を摘むために、職員の細かな変化にも気づき声掛けしたり相談できる職場づくりを目指そうと思いました。	3
4	「ありがとう」の言葉を利用者に伝わるように表す。「させて頂く」の気持ちで対応する。	
5	初心に戻る事です。相手の目線に立って声をかける事、状況によって声の高低を変えることなど、あいての立場に立って自分だったら…と考える。	
7	業務が忙しい時には「後で」ということをしてしまう。利用者の方が声掛けした時は立ち止まり声を聴くことで見出すものが大きいと感じた。	
8	利用者が拒否した時の理由を他職種の方と共有し改善していく。ストレス⇒事故⇒虐待につながる。	
9	虐待の再発防止は虐待をした職員の個人的問題ではなく、事業所全体でとらえていく必要がある。	
10	利用者に対する不適切な対応だと思ったらその場で声を掛け合う。管理者に報告する。	
11	立ち止まり、もう一回考える。そして明日からゲストの為に頑張ります。	
12	もう一度ケアを振り返ろうと思います。	
13	虐待を予防するには虐待には該当しない不適切な仕事を放置しないことが重要。どんなに小さなこと	3
14	でも、他職員と共有しながら話し合い、コミュニケーションも大事だと感じました。	
15	周りの職員が利用者の方に対して子ども扱いで接している場面を見たら、きちんと指導する。	
16	虐待に関してとても具体的でわかりやすかった。	
17	問題は小さな芽の時に摘むことが大事	2
18	なんでも話ができる職員がいるか？ 私には、話ができる職員が二人います。	
19	初心に戻り利用者に対応していこうと思った。自分がこうされたらどう思うのかを考えて行動したいと思った。声がきれいで気持ちよく聞けました。	
20	このくらいでいいだろう、と思わず、自分の立場で考えていく。	
21	相談しやすい職場の雰囲気を作っていきたいと思った。	
22	利用者の尊厳を保持するためにチームアプローチを行うためにもストレスマネジメントをしていく必要がある。	
23	具体的な虐待内容を見て、普段、自身が適切なケアが出来ているのか見直す時間になりました。ストレスと上手に付き合い悪循環にならないよう、また、職員同士のフォローによって職場の質が少しでも上がるようにしていきたいと感じました。まずは働く環境からより良くしていきたいです。良いチームで、良いケアを。レア	
24	ケースの事例など他では聞けないケースを知れて為になりました。	
25	職員から利用者への言葉の使い方によって、感情の変化が起きるという事、ストレスから虐待が起きる可能性がある。	
26	利用者に対しての声掛けの仕方を変える。気づかずにやっている虐待の見直し、声かけを行う。	
27	ワークでの「単なる拒否」、「抵抗」ととらえていないか、という項目が自分たちが実施しているケアを反省させられる言葉でした	
28	大変勉強になりました。また、改めて考えさせられる点もありました。	
29	高齢者に対する虐待に自分自身にあてはめ、自問自答させるよい講習であり、知識を深めることができた。	
30	ワークで入浴拒否の利用者について考えたように、日々の中で考えていきたい。	
31	虐待しないように、共感をもって利用者の状態に応じた適切なケアを提供する。	
32	虐待認定を受けた施設で一番多いのが特別養護老人ホーム(29.5%)という事実が印象に残りました。	
33	認知症だからと決めつけずに、自分と同じ人間だから誠心誠意対応する。人手不足や忙しい時に対応が虐待になっている場合があるので今一度確認できてよかった。自分自身の介護のやり方についていい勉強になりました。	
34	心理的虐待、言葉のかけ方など気をつけていこうと思った。	
35	考えさせられる点、改めたい点がありました。	
36	手伝いあたり、気遣える職場の雰囲気づくり	
37	入浴したくない人がなぜ入浴したくないのか考えることが楽しかったです、アセスメントをしっかり行っていきたい。	
38	ストレスがたまりやすい方で仕事へのやる気がなくなるときもあるので、誰かに気軽に何でも話せる環境を作りたい。	
39	40	

No.		同様の意見
41	働きやすい環境づくりが虐待防止につながる。介護の質の向上にもつながる。	5
42	虐待の本質について考えてみたいと思いました。	
43	利用者の安全安心なサービスの提供、心に寄り添うサービスの提供を行いたいと思います。	
44	身体的虐待はないと言い切れるが、心理的虐待となると考えるところが多くある。自身の今の状態を再度振り返り対応を続けていきたいと思った。とても意義のあるお話をありがとうございました。	3
45		
46	心理的虐待防止に努めていきたい。	
47	入所者、スタッフ仲間を大切に、今以上に寄り添ってケアに努めたい。	
48	自分では利用者に何気なく声をかけていることが気をつける必要があるという事。相手の立場で考えることの大切さを再確認できました。	
49	講演の中で聞いた声掛けや対応があり、サ責などが使っているためスタッフも委縮している。定期的な勉強会が必要。	
50	前兆、予兆で立ち止まれるチーム形成、助け合いやおかしいと思ったことが口に出せるようなチーム作りをしていきたい。	2
51	アンガーマネジメントの研修実施	2
52	改めて虐待について考えさせられました。施設に持ち帰って話をしたいと思います。	
53	ちゃん付けでなくとも、友達のような関係性にならないように気をつける。	3
54	利用者の方の立場になって色々考えるという事。	
55	「虐待をおこす負のループを断ち切る努力をする」「自分がされて嫌なことを利用者にしなさい」基本として考える。	
56	介護者のやり方で支援しないことが大切との言葉。利用者様と一緒に考えることが大切	
57	具体的な例など分かりやすかった。日々に業務の中で不適切が見過ごされていないかスタッフと話をしたい。	3
58	チェックリストを活用していく。	4
59	日常の中で利用者にとって適切な対応なのか再度考える必要があり、情報を共有し職員同士が相談できる環境づくりが大切	
60	対応に問題があるスタッフに対してどう関わって行くのか課題である。本人に自覚がない為繰り返し取り組む。	
61	身体拘束について特に興味がわきました。福祉用具の相談員としてベトナムは他人事ではないと感じた。	
62	虐待を見逃さず分析、チームアプローチにより改善する。ケアの質の向上によりモチベーションUP、ストレス解消、良い環境づくり	
63	「考えられないような現場がある」と聞いてなぜか納得してしまった。	
64	自分が気づかないうちに行っているかもしれない虐待の芽に気づき摘んでいかなければならない。	2
65	利用者さんが楽しく生活していくためには、介護する側の気持ちの面でのケアも大切	
66	「より良いケア」の評価、共有することをたくさん取り入れたらより良い環境になるのでは。	
67	常に自分の行動、言動を振り返る。	
68	性的虐待での人の尊厳、ヒューマンエラー、心に残りました。	
69	虐待を防止するのではなく、その人らしいイキキとした生活へサポートをするケアの提供	
70	介護現場で起こっている問題が手に取るようになった。解決、改善する方法、理念も理解できた。	
71	見抜く力をつけたい 業界内の職員虐待(特に管理者、上司)が多すぎる。	
72	現場目線の内容で非常に聞きやすく、大変心に響きました。	
73		
74		
75		
76		
77		
78		
79		
	記入率 75 % 合計96	24

② 今後のスタッフセミナーの内容・在り方

No.	内 容	同様の 意見
1	職員のストレス、感情のコントロール	
2	身体介護における介護技術(入浴、排泄、食事介助)等	
3	コロナ禍での取り組み、レク系	
4	身体介護の介護技術 利用者の急変時の対応	
5	レクリエーションについて、医療について	
6	記録の取り方、申し送りの仕方、皮膚剥離とびらんの区別がつかない	
7	看取りの心がけ	
8	安全対策、事故防止に関する研修、BCP作成のポイント	
9	アンガーマネジメント	
10	利用者から職員への暴力暴言に対するケア、身の守り方 / 介護度別、介護度に差がある中でのレクリエーションについて	
11	認知症について	
12	メンタルヘルスケアについて	
13	幸せ、信念についてまた、その具体的な確率	
14	介護保険の基礎、成り立ち、しくみ	
15	感染症について	
16	医療、介護の連携	
17	職場環境が悪くなる要因について、改善方法	
18	在宅療養について	
19	難聴のある利用者との接し方について	
20	認知症について	
21	法令順守	
22	事業所の取り組み発表 福祉用具の紹介	
23	BPSD 感染症対策 皮膚トラブル 職員指導について 危険予測ケア	
24	成年後見人制度について	
25	権利擁護について	
26	利用者本位のサービスを提供できるように関わる為にコミュニケーション能力と事業所との連携について	
27	看取り	
28		
29		
30		
31		
32		
33		

③ 協議会への要望等

No.	内 容	同様の意見
1	定期的に開催して欲しい。	
2	開催ありありがとうございました	
3	感染予防対応等、気を使われながらのスタッフセミナーの実施ありがとう	
4	リスク回避のために座席は、事業所ごとが良いのではないか。	
5	グループディスカッションが可能なセミナーをコロナが終息したら早くいってみたい。	
6	介護保険外サービスに関して	
7	自然災害(各種)時の対応について ころな感染対策、対応について	
8	人数を制限するのであれば2席開けてほしい。	
9	コロナ禍の中2時間は長いと思います。	
10	座席指定は良い対応でした。	
11		
12		